

【目標】	○所定外労働時間の縮減 年間平均所定外労働時間を毎年1割縮減し、平成25年1月末までに2.5～3割減	○社員満足度の向上 平成24年実施時に対平成22年度比15%アップ
-------------	---	--------------------------------------

	事業名	内容	指定委員会からのコメント
評価すべき 優れた点	取組全般		<ul style="list-style-type: none"> ・常に効果を検証しながら内容を見直している点や、経営トップをはじめ、全社的な理解を進めるために努力をしている点が評価できる。 ・自社だけでなく業界全体の問題として捉え、業界の波及について積極的に取組んでいる点が評価できる。
	労働時間縮減事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の取組の発信 ・業務効率化・労働時間縮減のための職場環境づくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・同業他社への働きかけや国交省への働きかけ等、社外へ積極的に情報発信している点が評価できる。 ・サービス残業防止の取組を実施していることは評価できる。

指定委員会からのコメント

助言・提案等	【労働時間縮減事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・時間外で帰った後の各自の時間の過ごし方等の対応も必要に思う。 ・繁忙期を分散する工夫を今後も継続してほしい。 ・技術が専門の管理職が多い中で、マネジメント力の強化に一層取組み、長時間労働の削減を進めてもらいたい。 ・超過勤務時間の削減などは目に見える成果となるよう、更なる工夫を講じてほしい。
	【その他独自事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方の改革グッズは全社の意識の向上に役立つ面白い取組である。ぜひ継続して実施して欲しい。
	【業界への波及】 <ul style="list-style-type: none"> ・業界に与える影響が大きいので今後とも取組を進めて欲しい。

《注釈》

・働き方の改革グッズ…社員から募集したワークライフバランスに関する標語を掲載したカレンダーや社員がその日の自分の退社時間、繁忙状況等を表示できる退社時間宣言ボードのこと。